

平成 27 年度障害福祉サービス等報酬改定検証調査

3. 短期入所のあり方に関する実態調査

調査結果

(1) 施設・事業所の基本情報

設置主体別の施設・事業所数の構成比をみると、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が 78.0%で最も多く、次いで「国、都道府県、市区町村、独立行政法人、広域連合・一部事務組合」が 10.3%、「特定非営利活動法人（NPO）」が 4.6%であった（第 1 - 1 表）。

運営主体別の施設・事業所数構成比では、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が 83.6%で最も多く、次いで「特定非営利活動法人（NPO）」が 4.7%、「国、都道府県、市区町村、独立行政法人、広域連合・一部事務組合」が 4.2%であった（第 1 - 2 表）。

第 1 - 1 表 設置主体別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	国、都道府県、市区町村、独立行政法人、広域連合・一部事務組合	社会福祉協議会	社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	医療法人	営利法人(株式・合名・合資・合同会社)	特定非営利活動法人(NPO)	その他の法人(社団・財団、農協、生協等)	無回答	計
施設・事業所数	103	10	780	25	27	46	9	-	1,000
構成比%	10.3%	1.0%	78.0%	2.5%	2.7%	4.6%	0.9%	-	100.0%

第 1 - 2 表 運営主体別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	国、都道府県、市区町村、独立行政法人、広域連合・一部事務組合	社会福祉協議会	社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	医療法人	営利法人(株式・合名・合資・合同会社)	特定非営利活動法人(NPO)	その他の法人(社団・財団、農協、生協等)	無回答	計
施設・事業所数	42	14	836	25	27	47	9	-	1,000
構成比%	4.2%	1.4%	83.6%	2.5%	2.7%	4.7%	0.9%	-	100.0%

運営主体の事業所設立年月別の施設・事業所数構成比では、「平成 12 年 3 月以前」が 43.0%で最も多く、次いで「平成 18 年 4 月から平成 24 年 3 月まで」が 22.8%、「平成 12 年 4 月から平成 18 年 3 月まで」が 20.2%、「平成 24 年 4 月以降」が 13.7%であった（第 1 - 3 表）。

第 1 - 3 表 運営主体の事業所設立年月別の施設・事業所数

	平成12年3月以前	平成12年4月から平成18年3月まで	平成18年4月から平成24年3月まで	平成24年4月以降	無回答	計
施設・事業所数	430	202	228	137	3	1,000
構成比%	43.0%	20.2%	22.8%	13.7%	0.3%	100.0%

報酬区分別の施設・事業所数構成比では、「福祉型」が 89.2%で大半を占め、次いで「医療型」が 7.3%、「基準該当事業所」が 3.0%であった（第 1 - 4 表）。

第 1 - 4 表 報酬区分別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	福祉型	医療型	基準該当事業所	無回答	計
施設・事業所数	892	73	30	5	1,000
構成比%	89.2%	7.3%	3.0%	0.5%	100.0%

事業の主に対象とする障害種類別の施設・事業所数割合をみると、「知的障害」が72.5%で最も多く、次いで「身体障害」が39.5%、「精神障害」が19.4%であった。「定めていない」は9.9%であった（第1-5表）。

第1-5表 主たる障害種類別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在、複数回答）

	身体障害	知的障害	精神障害	難病	その他	定めていない	無回答	計
施設・事業所数	395	725	194	43	47	99	1	1,000
割合%	39.5%	72.5%	19.4%	4.3%	4.7%	9.9%	0.1%	-

事業所類型別の施設・事業所数構成比では、「併設型」が60.6%で最も多く、次いで「空床利用型」が22.3%、「単独型」が16.4%であった（第1-6表）。

第1-6表 事業所類型別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	空床利用型	併設型	単独型	無回答	計
施設・事業所数	223	606	164	7	1,000
構成比%	22.3%	60.6%	16.4%	0.7%	-

空床利用型又は併設型の事業所における併設の状況別の施設・事業所数割合では、「障害者支援施設」が67.1%で最も多く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が9.2%、「特別養護老人ホーム」が6.6%、「医療型障害児入所施設」が5.1%、「福祉型障害児入所施設」が4.3%であった（第1-6-1表）。

第1-6-1表 空床利用型又は併設型の事業所における併設の状況別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	障害者支援施設	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	共同生活援助（グループホーム）	病院	診療所	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	その他	無回答
施設・事業所数	556	36	42	76	12	3	55	6	33	10
構成比%	67.1%	4.3%	5.1%	9.2%	1.4%	0.4%	6.6%	0.7%	4.0%	1.2%

	計
施設・事業所数	829
構成比%	-

単独型の事業所における日中活動サービスの併設の状況別の施設・事業所数割合では、「生活介護」が50.0%で最も多く、次いで「日中活動は実施していない」が30.5%、「就労継続支援B型」が26.2%、「放課後等デイサービス」が13.4%であった（第1-6-2表）。

第1-6-2表 単独型の事業所における日中活動サービスの併設の状況別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在、複数回答）

	日中活動は実施していない	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	児童発達支援	放課後等デイサービス	その他
施設・事業所数	50	82	1	12	8	3	43	10	22	14
割合%	30.5%	50.0%	0.6%	7.3%	4.9%	1.8%	26.2%	6.1%	13.4%	8.5%

	無回答	計
施設・事業所数	5	164
割合%	3.0%	-

定員数階級別の施設・事業所数の構成比をみると、「1-9人」が82.7%で最も多く、次いで「10-19人」が9.4%、「20-29人」が3.3%であった（第1-7-1表）。

施設・事業所全体の平均定員数は、7.8人、うち平成27年10月1日時点での緊急利用枠は平均0.3人、平成27年3月末日時点での緊急利用枠は0.2人であった。また、居室数は施設・事業所全体で平均6.6室、うち個室数は平均3.8室であった（第1-7-2表）。

第1-7-1表 定員数階級別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	50-59人	60-69人	70-79人	80-89人	90-99人
施設・事業所数	702	80	28	6	8	7	5	1	4	-
構成比%	82.7%	9.4%	3.3%	0.7%	0.9%	0.8%	0.6%	0.1%	0.5%	-

	100-109人	110-119人	120人以上	無回答	計
施設・事業所数	6	-	2	-	849
構成比%	0.7%	-	0.2%	-	100.0%

第1-7-2表 一施設・事業所数あたりの平均定員数、平均居室数

施設・事業所数=849

	総数	一施設・事業所数あたり平均
定員数（平成27年10月1日現在）（人）	6,612	7.8
うち、緊急利用枠（平成27年10月1日現在）（人）	218	0.3
平成27年3月末日時点の緊急利用枠（人）	175	0.2
居室数（平成27年10月1日現在）（室）	5,592	6.6
うち、個室数（平成27年10月1日現在）（室）	3,191	3.8

(2) 利用者数の状況

平成27年9月中における一施設・事業所数あたりの平均実利用者数は、13.3人であった。

平均実利用者数13.3人の内訳を年齢階層別にみると、「20歳以上35歳未満」が5.9人で最も多く、次いで「35歳以上50歳未満」が3.4人、「18歳未満」が1.7人、「50歳以上65歳未満」が1.5人であった。また、「65歳以上」では0.2人であった。

同様に、障害支援区分別にみると、「区分6」が4.2人で最も多く、次いで「区分5」が2.8人、「区分4」が2.4人、「区分3」が1.8人であった。「区分2」、「区分1」は平均1.0人に満たない人数であった。

男女別では、「男性」が8.1人、「女性」が5.2人で男性が多かった（第2-1表）。

第2-1表 一施設・事業所数あたりの障害支援区分別・年齢階層別の実利用者数（平成27年9月中）

		18歳未満	18歳以上20歳未満	20歳以上35歳未満	35歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上	全体平均
区分1	男性(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	女性(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	計(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分2	男性(人)	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.5
	女性(人)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3
	計(人)	0.1	0.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.8
区分3	男性(人)	0.2	0.0	0.3	0.2	0.2	0.0	1.0
	女性(人)	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.7
	計(人)	0.4	0.1	0.6	0.4	0.3	0.0	1.8
区分4	男性(人)	0.0	0.1	0.7	0.5	0.2	0.0	1.5
	女性(人)	0.0	0.0	0.4	0.4	0.2	0.0	1.0
	計(人)	0.0	0.1	1.1	0.9	0.3	0.0	2.4
区分5	男性(人)	0.0	0.1	1.1	0.4	0.1	0.0	1.8
	女性(人)	0.0	0.0	0.4	0.3	0.2	0.0	1.0
	計(人)	0.0	0.1	1.5	0.8	0.3	0.0	2.8
区分6	男性(人)	0.0	0.2	1.5	0.6	0.2	0.0	2.4
	女性(人)	0.0	0.1	1.0	0.4	0.2	0.0	1.8
	計(人)	0.1	0.3	2.4	1.0	0.3	0.0	4.2
障害児・非該当・その他(認定中等)	男性(人)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	女性(人)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	計(人)	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
合計	男性(人)	1.1	0.4	3.7	1.9	0.8	0.1	8.1
	女性(人)	0.5	0.3	2.2	1.4	0.7	0.1	5.2
	計(人)	1.7	0.6	5.9	3.4	1.5	0.2	13.3

平成 27 年 9 月中の実利用者のうち緊急利用者数の一施設・事業所数あたり平均利用者数は、0.127 人であった。

平均緊急利用者数の 0.127 人の内訳を年齢階層別にみると、「20 歳以上 35 歳未満」が 0.048 人で最も多く、次いで「35 歳以上 50 歳未満」が 0.040 人、「18 歳未満」が 0.020 人、「50 歳以上 65 歳未満」が 0.012 人であった。「65 歳以上」では 0.002 人であった。

同様に、障害支援区分別にみると、「区分 6」が 0.031 人で最も多く、次いで「区分 3」が 0.029 人、「区分 4」が 0.026 人であった。

男女別では、「男性」が 0.078 人、「女性」が 0.048 人で男性が多かった（第 2-1-1 表）。

第 2-1-1 表 一施設・事業所数あたりの障害支援区分別・年齢階層別の実利用者のうち緊急利用者数（平成 27 年 9 月中）

		18歳未満	18歳以上20歳未満	20歳以上35歳未満	35歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上	全体平均
区分 1	男性（人）	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
	女性（人）	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001
	計（人）	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.002
区分 2	男性（人）	0.001	0.001	0.005	0.009	0.000	0.000	0.016
	女性（人）	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.002
	計（人）	0.001	0.001	0.006	0.010	0.000	0.000	0.019
区分 3	男性（人）	0.005	0.001	0.003	0.003	0.001	0.001	0.014
	女性（人）	0.000	0.000	0.003	0.008	0.003	0.000	0.014
	計（人）	0.005	0.001	0.006	0.011	0.004	0.001	0.029
区分 4	男性（人）	0.000	0.001	0.010	0.003	0.001	0.000	0.015
	女性（人）	0.000	0.000	0.005	0.004	0.001	0.000	0.010
	計（人）	0.000	0.001	0.015	0.007	0.002	0.000	0.026
区分 5	男性（人）	0.000	0.000	0.001	0.000	0.002	0.000	0.003
	女性（人）	0.000	0.000	0.003	0.000	0.000	0.001	0.004
	計（人）	0.000	0.000	0.004	0.000	0.002	0.001	0.007
区分 6	男性（人）	0.001	0.001	0.008	0.006	0.002	0.000	0.019
	女性（人）	0.000	0.000	0.006	0.005	0.001	0.000	0.012
	計（人）	0.001	0.001	0.014	0.011	0.003	0.000	0.031
障害児・非該当・その他 (認定中等)	男性（人）	0.009	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.009
	女性（人）	0.002	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.004
	計（人）	0.011	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.013
合計	男性（人）	0.016	0.004	0.029	0.022	0.006	0.001	0.078
	女性（人）	0.003	0.000	0.020	0.019	0.006	0.001	0.048
	計（人）	0.020	0.004	0.048	0.040	0.012	0.002	0.127

平成 27 年 9 月中の実利用者のうち長期利用者数の一施設・事業所数あたり平均利用者数は、0.660 人であった。

平均長期利用者数の 0.660 人の内訳を年齢階層別にみると、「20 歳以上 35 歳未満」が 0.228 人で最も多く、次いで「35 歳以上 50 歳未満」が 0.192 人、「50 歳以上 65 歳未満」が 0.144 人、「18 歳未満」が 0.041 人であった。「65 歳以上」では 0.035 人であった。

同様に、障害支援区分別にみると、「区分 5」が 0.201 人で最も多く、次いで「区分 4」が 0.195 人、「区分 6」が 0.142 人であった。男女別では、「男性」が 0.421 人、「女性」が 0.239 人で男性が多かった（第 2-1-2 表）。

第 2-1-2 表 一施設・事業所数あたりの障害支援区分別・年齢階層別の実利用者のうち長期利用者数（平成27年9月中）

		18歳未満	18歳以上20歳未満	20歳以上35歳未満	35歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上	全体平均
区分 1	男性（人）	0.000	0.000	0.002	0.001	0.002	0.000	0.005
	女性（人）	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.002
	計（人）	0.000	0.000	0.002	0.002	0.003	0.000	0.007
区分 2	男性（人）	0.001	0.000	0.001	0.004	0.004	0.002	0.012
	女性（人）	0.000	0.001	0.005	0.003	0.003	0.003	0.015
	計（人）	0.001	0.001	0.006	0.007	0.007	0.005	0.028
区分 3	男性（人）	0.001	0.001	0.015	0.012	0.018	0.003	0.051
	女性（人）	0.000	0.001	0.006	0.008	0.010	0.002	0.028
	計（人）	0.001	0.002	0.022	0.021	0.028	0.005	0.078
区分 4	男性（人）	0.032	0.001	0.018	0.030	0.026	0.005	0.111
	女性（人）	0.000	0.002	0.012	0.049	0.018	0.003	0.084
	計（人）	0.032	0.003	0.030	0.078	0.043	0.008	0.195
区分 5	男性（人）	0.001	0.006	0.077	0.029	0.018	0.001	0.132
	女性（人）	0.000	0.001	0.037	0.009	0.017	0.005	0.069
	計（人）	0.001	0.007	0.115	0.038	0.034	0.006	0.201
区分 6	男性（人）	0.000	0.005	0.043	0.033	0.015	0.005	0.102
	女性（人）	0.000	0.001	0.010	0.012	0.011	0.005	0.040
	計（人）	0.000	0.006	0.054	0.045	0.027	0.010	0.142
障害児・非該当・その他 (認定中等)	男性（人）	0.006	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.007
	女性（人）	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001
	計（人）	0.006	0.000	0.000	0.000	0.002	0.000	0.008
合計	男性（人）	0.041	0.013	0.157	0.109	0.084	0.017	0.421
	女性（人）	0.000	0.006	0.071	0.083	0.061	0.019	0.239
	計（人）	0.041	0.020	0.228	0.192	0.144	0.035	0.660

(3) 人員体制と提供サービス等の状況

平成27年11月4日から11月10日までの7日間に提供した日中活動サービス別の施設・事業所数の構成をみると、「入浴」が65.5%で最も多く、次いで「余暇活動の実施」が64.3%、「見守り中心の支援」が54.2%、「健康管理、医療的ケア」が51.1%、「創作活動の実施」が35.3%、「生産活動の実施」が20.4%であった（第3-1表）。

第3-1表 日中活動サービスを提供している場合の活動内容別の施設・事業所数（平成27年11月4日～11月10日までの7日間、複数回答）

	機能訓練等 (理学療法、作業療法等)	健康管理、 医療的ケア	入浴	生産活動の 実施 <small>(自主製品の製造販売、下請け・内職作業、労務提供、喫茶店等シヨップ 経営等)</small>	創作活動の 実施 <small>(造形、絵画、園芸等)</small>	余暇活動の 実施 <small>(レクリエーション、お祭り、ビデオ鑑賞、買物、散歩等)</small>	見守り中心 の支援	その他	無回答	計
施設・事業所数	125	511	655	204	353	643	542	73	163	1000
割合%	12.5%	51.1%	65.5%	20.4%	35.3%	64.3%	54.2%	7.3%	16.3%	-

緊急利用のための体制整備状況別の施設・事業所数の割合では、「無回答」を除き、「緊急利用に対応できる職員数の確保ができています」が18.2%で最も多く、次いで「緊急利用枠として一定数の空床を確保している」が15.4%、「その他」が14.7%、「24時間の受付相談窓口を開設している」が14.2%、「医療的ケア等の専門知識を有している職員を配置できる」が11.5%であった（第3-2表）。

第3-2表 緊急利用のための体制整備状況別の施設・事業所数（平成27年10月1日時点、複数回答）

	緊急利用枠として一定数の空床を確保している	24時間の受付相談窓口を開設している	ホームページ上での空室情報の公開や近隣の他事業所等への周知を行っている	24時間送迎を行える体制をとっている	医療的ケア等の専門知識を有している職員を配置できる	緊急利用に対応できる職員数の確保ができています	その他	無回答	計
施設・事業所数	154	142	54	11	115	182	147	412	1000
割合%	15.4%	14.2%	5.4%	1.1%	11.5%	18.2%	14.7%	41.2%	-

医療的ケアの提供体制状況別の施設・事業所数の割合をみると、「併設施設に配置されている看護師が対応する」が45.1%で最も多く、次いで「医療的ケアは対応していない」が30.4%、「看護師を専従で配置している」が22.2%、「オンコール体制を整備している」が15.8%であった（第3-3表）。

第3-3表 医療的ケアの提供体制状況別の施設・事業所数（平成27年10月1日時点、複数回答）

	医療的ケアは対応していない	看護師を専従で配置している	併設施設に配置されている看護師が対応する	外部医療機関に定期的に訪問してもらう	オンコール体制を整備している	無回答	計
施設・事業所数	304	222	451	79	158	70	1000
割合%	30.4%	22.2%	45.1%	7.9%	15.8%	7.0%	-

平成 27 年 9 月中のたんの吸引等の一施設・事業所数あたり実利用者数は、0.7 人であった。また、たんの吸引等が必要な者の一人一日あたりのたんの吸引等の平均回数は、6.1 回であった（第 3 - 4 表）。

第 3 - 4 表 一施設・事業所数あたりのたんの吸引等の実利用者数（平成 27 年 9 月中）
施設・事業所数=884

	一施設・事業所数あたり平均
たんの吸引等の実利用者数（人）	0.7
たんの吸引等が必要な者の一人一日あたりのたんの吸引等の平均回数（回）	6.1

食事に要する費用に係る本人負担額の 1 人あたり平均の徴収金額は、平成 27 年 9 月中の場合で、「一般所得者の本人負担額」が平均 5,205 円、「低所得者等の本人負担額」が平均 4,010 円であった。平成 27 年 3 月中の場合では、「一般所得者の本人負担額」が平均 5,741 円、「低所得者等の本人負担額」が平均 4,369 円であった（第 3 - 5 表）。

第 3 - 5 表 一施設・事業所数あたり食事の提供に要する費用に係る本人負担額の徴収人数と徴収金額
施設・事業所数=718

		徴収人数 総数 (人)	徴収金額 総数 (千円)	1人あたり徴 収金額(円)
平成 27年 9月 中	一般所得者の本人負担額（食事提供体制加算の対象外の者）	777	4,044	5,205
	低所得者等の本人負担額（食事提供体制加算の対象者）	7,948	31,872	4,010
平成 27年 3月 中	一般所得者の本人負担額（食事提供体制加算の対象外の者）	762	4,375	5,741
	低所得者等の本人負担額（食事提供体制加算の対象者）	7,804	34,095	4,369

平成 27 年 9 月中における入浴サービスの延べ提供回数は、一施設・事業所数あたり平均で 33.6 回であった（第 3 - 6 表）。

第 3 - 6 表 一施設・事業所数あたりの入浴サービスの延べ提供回数（平成 27 年 9 月中）

	総数	一施設・事業所数あたりの入浴サービスの平均提供回数
ひと月の入浴サービスの延べ提供回数（回）	32,524	33.6

女性利用者に対する同性介助について同性介助の内容別の施設・事業所数の構成比をみると、「排せつ」の場合では、「同性介助による介助に限定されている」が73.2%で最も多く、次いで「同性介助を希望すれば介助が受けられる」が11.3%、「同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）」が10.8%であった。

「入浴」の場合では、「同性介助による介助に限定されている」が77.5%で最も多く、「同性介助を希望すれば介助が受けられる」が10.2%、「同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）」が7.2%であった（第3-7-1表）。

第3-7-1表 排せつや入浴等の支援の場合における女性利用者に対する同性介助内容別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

		同性介助による介助に限定されている	同性介助を希望すれば介助が受けられる	同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）	無回答	計
排せつ	施設・事業所数	732	113	108	47	1,000
	構成比%	73.2%	11.3%	10.8%	4.7%	100.0%
入浴	施設・事業所数	775	102	72	51	1,000
	構成比%	77.5%	10.2%	7.2%	5.1%	100.0%

同様に、男性利用者に対する同性介助について同性介助の内容別の施設・事業所数の構成比をみると、「排せつ」の場合では、「同性介助による介助に限定されている」が46.8%で最も多く、次いで「同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）」が27.4%、「同性介助を希望すれば介助が受けられる」が22.0%であった。

「入浴」の場合では、「同性介助による介助に限定されている」が55.0%で最も多く、「同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）」が21.9%、「同性介助を希望すれば介助が受けられる」が18.6%であった（第3-7-2表）。

第3-7-2表 排せつや入浴等の支援の場合における男性利用者に対する同性介助内容別の施設・事業所数（平成27年10月1日現在）

		同性介助による介助に限定されている	同性介助を希望すれば介助が受けられる	同性介助による介助に限定されていない（同性介助を希望していても介助が受けられない場合がある）	無回答	計
排せつ	施設・事業所数	468	220	274	38	1,000
	構成比%	46.8%	22.0%	27.4%	3.8%	100.0%
入浴	施設・事業所数	550	186	219	45	1,000
	構成比%	55.0%	18.6%	21.9%	4.5%	100.0%

(4) 加算等の算定状況

医療連携体制加算の算定ありの施設・事業所数は、「平成27年9月分」が1.9%、「平成27年3月分」が1.6%であった（第4-1表）。

第4-1表 医療連携体制加算の算定有無別の施設・事業所数

		加算の算定あり	加算の算定なし	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	19	941	40	1,000
	構成比%	1.9%	94.1%	4.0%	100.0%
平成27年3月分	施設・事業所数	16	940	44	1,000
	構成比%	1.6%	94.0%	4.4%	100.0%

医療連携体制加算の算定がある場合の算定内容別の施設・事業所数をみると、平成27年9月分では、「加算（Ⅰ）の算定あり」が4か所、「加算（Ⅱ）の算定あり」が4か所、「加算（Ⅲ）の算定あり」が1か所、「加算（Ⅳ）の算定あり」が4か所であった。

同様に、平成27年3月分では、「加算（Ⅰ）の算定あり」が4か所所、「加算（Ⅱ）の算定あり」が1か所、「加算（Ⅳ）の算定あり」が2か所であった。「加算（Ⅲ）の算定あり」は算定されている施設・事業所が無かった（第4-1-1表）。

第4-1-1表 医療連携体制加算の算定ありの場合の算定内容別の施設・事業所数

		加算（Ⅰ）の算定あり	加算（Ⅱ）の算定あり	加算（Ⅲ）の算定あり	加算（Ⅳ）の算定あり	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	4	4	1	4	9	19
	割合%	21.1%	21.1%	5.3%	21.1%	47.4%	-
平成27年3月分	施設・事業所数	4	1	-	2	9	16
	割合%	25.0%	6.3%	-	12.5%	56.3%	-

食事提供体制加算の算定ありの施設・事業所数は、「平成27年9月分」が84.2%、「平成27年3月分」が81.7%であった（第4-2表）。

第4-2表 食事提供体制加算の算定有無別の施設・事業所数

		加算の算定あり	加算の算定なし	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	842	128	30	1,000
	構成比%	84.2%	12.8%	3.0%	100.0%
平成27年3月分	施設・事業所数	817	149	34	1,000
	構成比%	81.7%	14.9%	3.4%	100.0%

緊急短期入所体制確保加算の算定ありの施設・事業所数は、「平成27年9月分」が1.7%、「平成27年3月分」が1.3%であった（第4-3表）。

第4-3表 緊急短期入所体制確保加算の算定有無別の施設・事業所数

		加算の算定あり	加算の算定なし	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	17	947	36	1,000
	構成比%	1.7%	94.7%	3.6%	100.0%
平成27年3月分	施設・事業所数	13	947	40	1,000
	構成比%	1.3%	94.7%	4.0%	100.0%

緊急短期入所受入加算の算定ありの施設・事業所数は、「平成27年9月分」が1.9%、「平成27年3月分」が1.4%であった（第4-4表）。

第4-4表 緊急短期入所受入加算の算定有無別の施設・事業所数

		加算の算定あり	加算の算定なし	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	19	946	35	1,000
	構成比%	1.9%	94.6%	3.5%	100.0%
平成27年3月分	施設・事業所数	14	947	39	1,000
	構成比%	1.4%	94.7%	3.9%	100.0%

送迎加算の算定ありの施設・事業所数は、「平成27年9月分」が31.4%、「平成27年3月分」が27.9%であった（第4-5表）。

第4-5表 送迎加算の算定有無別の施設・事業所数

		加算の算定あり	加算の算定なし	無回答	計
平成27年9月分	施設・事業所数	314	659	27	1,000
	構成比%	31.4%	65.9%	2.7%	100.0%
平成27年3月分	施設・事業所数	279	688	33	1,000
	構成比%	27.9%	68.8%	3.3%	100.0%

(5) 利用者への支援状況

① 利用者の基本情報

平成27年9月中における短期入所の利用者のうち、性別の利用者数構成比は、「男性」が60.7%、「女性」が39.1%であった(第5-1表)。年齢階層別では、「20-29歳」が32.6%で最も多く、次いで、「30-39歳」が21.4%、「40-49歳」が15.0%、「18歳未満」が12.2%であった(第5-2表)。障害種類別では、「知的障害」が82.3%、「身体障害」が35.5%、「精神障害」が5.2%、「難病等」が1.0%であった(第5-3表)。強度行動障害の有無別では、「あり」が6.5%であった(第5-4表)。障害支援区分別でみると、「区分6」が31.9%で最も多く、次いで、「区分5」が20.0%、「区分4」が17.9%、「区分3」が13.9%であった。障害支援区分の全体平均区分数は4.6であった(第5-5表)。

第5-1表 性別の利用者数

	男性	女性	無回答	計
利用者数(人)	5,356	3,448	23	8,827
構成比%	60.7%	39.1%	0.3%	100.0%

第5-2表 年齢階層別の利用者数 (平成27年10月1日現在)

	18歳未満	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
利用者数(人)	1,074	457	2,878	1,885	1,327	696	339	88	40
構成比%	12.2%	5.2%	32.6%	21.4%	15.0%	7.9%	3.8%	1.0%	0.5%

	無回答	計	平均年齢
利用者数(人)	43	8,827	32.0
構成比%	0.5%	100.0%	-

第5-3表 障害種類別の利用者数 (平成27年9月中、複数回答)

	身体障害	知的障害	精神障害	難病等	無回答	計
利用者数(人)	3,130	7,267	458	91	43	8,827
割合%	35.5%	82.3%	5.2%	1.0%	0.5%	-

第5-4表 強度行動障害の有無(行動関連項目10点以上の者)別の利用者数 (平成27年10月1日現在)

	あり	なし	無回答	計
利用者数(人)	575	7,983	269	8,827
構成比%	6.5%	90.4%	3.0%	100.0%

第5-5表 障害支援区分別の利用者数 (平成27年10月1日現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児・非該当・その他(申請中等)	無回答	計	平均障害支援区分
利用者数(人)	93	538	1,227	1,580	1,764	2,812	754	59	8,827	4.6
構成比%	1.1%	6.1%	13.9%	17.9%	20.0%	31.9%	8.5%	0.7%	100.0%	-

② 利用者への支援状況

平成27年4月から9月までの半年間の利用回数は、一利用者数あたり平均9.9回であった。うち、緊急利用の回数は、平均0.1回であった。同様に、合計利用日数の一利用者数あたり平均は33.3日であった。また、連続利用日数は平均10.7日であった（第5-6表）。

第5-6表 一利用者数あたりの利用回数、利用日数、連続利用日数（平成27年4月～9月までの半年間）

		利用者数（人）=8,064	
		総数	一利用者数あたり平均日数
利用回数（平成27年4月1日～9月30日）（回）		80,013	9.9
	うち、緊急利用の回数（平成27年4月1日～9月30日）（回）	575	0.1
合計利用日数（平成27年4月1日～9月30日）（日）		268,153	33.3
連続利用日数（平成27年4月1日～9月30日）（日）		86,277	10.7

短期入所の利用理由別の利用者数割合について、「通常利用の場合」では、「介護者・家族の心身の負担軽減のため」が75.4%で最も多く、次いで「介護者・家族の冠婚葬祭や旅行等のため」が19.6%、「介護者・家族の疲弊に伴う利用者の状態悪化を防ぐため」が17.7%、「生活のリズムをつくる（取り戻す）ため」が17.2%、「利用者の状態の維持・改善を図るため」が17.2%、「施設入所に向けた体験利用のため」が14.5%であった。

「緊急利用の場合」は、「無回答」を除き、「介護者・家族の急病や事故等のため」が3.7%で最も多く、次いで「介護者・家族の冠婚葬祭や旅行等のため」が3.6%、「介護者・家族の心身の負担軽減のため」が1.2%であった（第5-7表）。

第5-7表 通常の場合及び緊急の場合における利用理由別の利用者数（複数回答可）

		介護者・家族の心身の負担軽減のため	介護者・家族の疲弊に伴う利用者の状態悪化を防ぐため	介護者・家族の冠婚葬祭や旅行等のため	介護者・家族の急病や事故等のため	利用者が医療的ケアを受けるため	利用者が機能訓練や生活訓練等を受けるため	生活のリズムをつくる（取り戻す）ため（日常生活上の相談支援や助言等を含む）	居宅の生活環境の悪化（夏場の熱中症対策や自然災害による影響等）に対応するため	利用者の状態の悪化に対応するため	利用者の状態の維持・改善を図るため
通常の場合	利用者数（人）	6,658	1,563	1,729	628	166	665	1,518	117	415	1,516
	割合%	75.4%	17.7%	19.6%	7.1%	1.9%	7.5%	17.2%	1.3%	4.7%	17.2%
緊急の場合	利用者数（人）	102	59	318	323	8	9	22	8	37	27
	割合%	1.2%	0.7%	3.6%	3.7%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.4%	0.3%

		夜間の見守りのため	施設の入所待ちのため	施設入所に向けた体験利用のため	地域移行に向けた利用のため	その他	無回答	計
通常の場合	利用者数（人）	557	637	1,278	487	598	196	8,827
	割合%	6.3%	7.2%	14.5%	5.5%	6.8%	2.2%	-
緊急の場合	利用者数（人）	12	14	13	4	32	8,215	8,827
	割合%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	93.1%	-

連続して31日以上利用した長期利用の理由別の利用者数割合は、「施設の入所待ちが長引いているため」が38.2%で最も多く、次いで「介護者・家族等の病気ややむを得ない事情が長期化しているため」が37.4%、「利用者の心身の状況や病状が改善しないため」が15.2%、「利用者本人が希望するため」が11.3%であった（第5－8表）。

第5－8表 長期利用の理由（9月30日時点で連続して31日以上利用している者）別の利用者数（複数回答）

	介護者・家族等の病気ややむを得ない事情が長期化しているため	利用者の心身の状況や病状が改善しないため	施設の入所待ちが長引いているため	利用者本人が希望するため	虐待等の利用で帰宅することができないため	介護者・家族等の業務が多忙な時期が長期化しているため	家族との関係悪化の状態が長期化しているため	その他	無回答	計
利用者数（人）	175	71	179	53	40	17	45	46	49	468
割合%	37.4%	15.2%	38.2%	11.3%	8.5%	3.6%	9.6%	9.8%	10.5%	-

日中の活動状況別の利用者数の割合をみると、「生活介護」が52.7%で最も多く、次いで「短期入所において支援」が37.0%、「自宅で過ごす」が17.1%、「就労継続支援B型」が10.7%であった（第5－8表）。

第5－9表 日中の活動状況別の利用者数（平成27年10月1日現在、複数回答）

	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	児童発達支援	放課後等デイサービス	短期入所において支援	特別支援学校
利用者数（人）	4,655	87	112	35	33	945	70	272	3,264	681
割合%	52.7%	1.0%	1.3%	0.4%	0.4%	10.7%	0.8%	3.1%	37.0%	7.7%

	精神科デイケア	一般就労	自宅で過ごす	その他	無回答	計
利用者数（人）	65	45	1,509	327	250	8,827
割合%	0.7%	0.5%	17.1%	3.7%	2.8%	-

平成 27 年 9 月中に医療的ケアを受けた利用者は、全体の 45.6%であった（第 5-10）。

そのうち、どの医療的ケアを受けたか項目別にみると、「服薬管理（薬の区分け・与薬の準備、配布を含む（※麻薬の管理を除く））」が 96.5%で最も多く、次いで「浣腸」が 8.9%、「胃ろうによる栄養管理」が 8.3%、「吸引（咽頭手前までの口腔内）」が 7.3%、「持続モニターの管理（心拍・血圧・酸素飽和度等）」が 6.8%であった（第 5-10-1 表）。

第 5-10 表 医療的ケアの実施有無別の利用者数（平成27年9月中）

	医療的ケアを実施している	医療的ケアを実施していない	計
利用者数（人）	4,028	4,799	8,827
構成比%	45.6%	54.4%	100.0%

第 5-10-1 表 医療的ケアの利用者数（平成27年9月中、複数回答）

	吸引（咽頭手前までの口腔内）	吸引（鼻腔）	吸引（咽頭より奥または気管切開）	経鼻経管栄養	胃ろうによる栄養管理	点滴	膀胱（留置）カテーテルの管理	人工肛門（ストーマ）のケア	ネブライザー	酸素療法（酸素吸入）
利用者数（人）	294	230	231	148	333	9	49	5	121	105
割合%	7.3%	5.7%	5.7%	3.7%	8.3%	0.2%	1.2%	0.1%	3.0%	2.6%

	気管切開のケア	人工呼吸器の観察	中心静脈栄養	持続モニターの管理（心拍・血圧・酸素飽和度等）	じょくそうの処置（Ⅰ度・Ⅱ度）	じょくそうの処置（Ⅲ度・Ⅳ度）	創傷処置	疼痛管理（麻薬の使用あり）	疼痛管理（麻薬の使用なし）	インスリン注射
利用者数（人）	176	110	5	275	43	8	112	-	17	23
割合%	4.4%	2.7%	0.1%	6.8%	1.1%	0.2%	2.8%	-	0.4%	0.6%

	導尿	浣腸	摘便	服薬管理（薬の区分け・与薬の準備、配布を含む（※麻薬の管理を除く））	麻薬の管理	計
利用者数（人）	46	360	132	3,888	4	4,028
割合%	1.1%	8.9%	3.3%	96.5%	0.1%	-

平成 27 年 9 月中の最後の利用日における「口腔内のたんの吸引」の実施回数は、一利用者数あたり平均 0.3 回であった。また、同様に「胃ろうによる経管栄養」の実施回数は、一利用者数あたり平均 0.2 回であった（第 5-11 表）。

第 5-11 表 一施設・事業所数あたりのたんの吸引等の回数（平成27年9月中における最後の利用日）

利用者数（人）=6,194

	総数	一施設・事業所数あたり平均
利用日における「口腔内のたんの吸引」の回数（回）	1,910	0.3
利用日における「胃ろうによる経管栄養」の回数（回）	990	0.2

送迎を利用しない者における送迎を行わない理由別の利用者数の割合をみると、「介護者・家族等による車等での送迎を利用するので事業所の送迎は不要」が 58.7%で最も多く、次いで「送迎体制を組めないの送迎自体を実施していない（事業所側の事情）」が 41.3%であった（第 5 - 1 2 表）。

第 5 - 1 2 表 送迎を利用しない者における送迎を行わない理由別の利用者数（複数回答）

	公共交通機関（バスや電車等）を利用するので事業所の送迎は不要	介護者・家族等による車等での送迎を利用するので事業所の送迎は不要	利用者の居住地が通常の送迎地域の範囲外なので送迎ができない（事業所側の事情）	利用者の心身の状況に対応できる職員が不在で送迎ができない（事業所側の事情）	送迎体制を組めないの送迎自体を実施していない（事業所側の事情）	その他	計
利用者数（人）	336	3,389	124	14	2,383	630	5,772
割合%	5.8%	58.7%	2.1%	0.2%	41.3%	10.9%	-

※送迎を利用していない場合を除く。